



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



謹賀新年



新年のご挨拶 近畿中国森林管理局長 柏原 卓司



新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては新年を迎え、ますます御清祥のことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、夏ごろにあった新型コロナウイルス感染症のいわゆる第7波で多数の陽性者が確認されましたが、十分な感染対策の下で、祇園祭の山鉦巡行や天神祭の陸渡御など、「3年ぶりの」という枕詞の付く行事が多く開催されました。当森林管理局の関係では、10月23日にやはり3年ぶりとなる「水都おおさか森林（もり）の市」が無事開催され、多くのお客様にお越しいただきました。第8波の行方は予断を許しませんが、できるだけ平穏な1年となることを願っております。

また、昨年は、8月はじめに豪雨に見舞われた石川県・福井県など管内の一部の地域において、山地災害により大きな被害が発生しました。被災されたすべての方々に改めてお見舞いを申し上げます。今年こそは災害の少ない年であってほしいと願っておりますが、万一発生した場合には、組織を挙げて迅速・適切な対応に努める所存です。

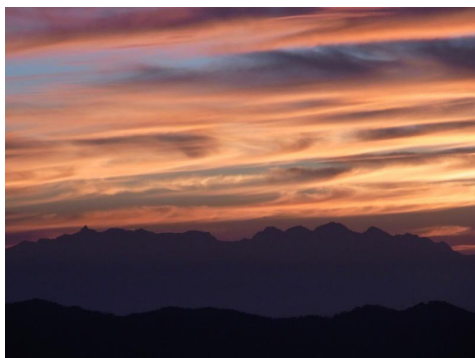
林産物価格に目を転じますと、スギ・ヒノキ原木、製材品ともに最近は落ち着いてきましたが、いわゆるウッドショック以前（2021年3月以前）と比較すると、高い水準で推移しています。輸入木材には供給リスクも存在することにかんがみ、引き続き、国産材の供給体制を強化し、様々な海外情勢の影響を受けにくい環境を整備していくことが重要であると考えています。

さて、我が国の森林の約4割（約1千万ha）を占める人工林の半数が一般的な主伐期である50年生を超え、本格的な利用期を迎えている中、その適切な伐採・利用を進めるとともに、伐採後の再造林を推進することによって、森林資源の循環を確実なものとしていくことが重要であります。

一昨年6月に閣議決定された現行の「森林・林業基本計画」においては、林業・木材産業が内包する持続性を高めながら成長発展させ、人々が森林の発揮する多面的機能の恩恵を享受できるようにすることを通じて、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」を実現することとされ、そのための取組方向として、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を展開することなどが示されております。

近畿中国森林管理局といたしましても、「新しい林業」の実証、治山・災害復旧対策の推進、市町村等国有林外の関係者への支援、ICT技術の活用等を通じて、基本計画の実現と管内各地域の発展に貢献したいと考えておりますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって健康で実り多い年となりますことを祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



朝焼けの風景（石川森林管理署管内）

近畿中国森林管理局管内国有林野等 所在市町村長連絡協議会を開催

【企画調整課】

11月1日（火）当局大会議室において、国有林野等所在市町村長連絡協議会を開催しました。



この協議会は、地元農山村の社会経済の発展と国有林野事業の円滑な遂行に寄与することを目的に設置し



議長の宍粟市長

ており、管内14協議会の代表者が一同に参加して情報提供や意見交換などを行いました。

林野庁から経営企画課長、森林利用課森林集積推進室長が出席し、令和5年度予算概算要求の概要、森林環境譲与

税の更なる活用と森林経営管理制度の取組状況、相続土地国庫帰属制度等について情報提供を行いました。



林野庁経営企画課長

その後、近畿中国森林管理局から令和4年度の重点取組事項と市町村ニーズを踏まえた国有林の支援について（国有林における市町村支援メニュー）等の情報提供を行いました。



森林整備センター
近畿北陸整備局長

また、森林整備センター近畿北陸整備局から、森林整備センターの概要及び取組（面的な森林整備や市町村との連携による造林未済地解消対策等）について情報提供いただきました。

意見交換では、森林環境譲与税の確保や山林の所有者不明問題、再造林の推進に向けた豪雪地におけるシカ被害対策の検討、公共建築物における木材利用や木質化の促進に向けた支援等についての意見提言がありました。

協議会で出された意見を踏まえて、今後もより一層地域に貢献できる取組に努めてまいります。

令和4年度森林管理署長等会議を行いました。

【総務課】

近畿中国森林管理局では、令和4年度森林管理署長等会議を11月15日（火）、11月16日（水）の2日間局会議室において開催しました。



局長より訓示

今回の会議は、新型コロナ対策のため出席者は課長以上の局幹部、署長等とし、出席者以外の課長補佐、企画官等はWEBでの視聴となりました。

1日目は、全体会議で、局長より本庁主催の局長会議



全体会議の様子

に基づいた指示、基本方針、署長等へのリーダーシップへの期待、農政局の府県拠点との連携などについて訓示がありました。続

いて行われた次長、各部長等による説示の後、署長等との意見交換が行われました。

続いて各部、各課から署長等への指示伝達があり、意思の疎通が図られました。

2日目は、新しい林業推進PT（プロジェクトチーム）（拡大）を開催し、本庁の動向や各部会の取組状況、署の取組事例の報告がありました。



署の取組事例を説明する職員（和歌山署）と次長による寸評

今後も各署等との連絡を密にし、新しい林業推進を含めた業務運営が円滑に進むよう努めてまいります。

ひょうご里山フェスタ2022にブース 出展しました。

【兵庫森林管理署】

兵庫森林管理署では、10月30日（日）に兵庫県丹波篠山市の兵庫県立丹波並木道中央公園で3年ぶりに開催された「ひょうご里山フェスタ2022」に木工と展示のブースで参加しました。当日は秋晴れに恵まれ気持ち



出来上がった作品を持つ参加者



作品作成中



作品作成中

の良い陽気の中、会場には飲食や展示、体験ブースなどの各種ブースの出展があり、会場全体が活気のある雰囲気でもありました。

当署では、今後もイベント等に参加して、国有林の果たす役割や兵庫森林管理署の活動内容等をより多くの国民に知ってもらうため、積極的に情報発信に取り組んでまいります。



兵庫森林管理署のブース

山口県OF会によるボランティア活動 を実施しました。

【山口森林管理事務所】

10月27日（木）、滑山林道半五郎支線において、山口県オールドフォレスターの会（OF会）による今年度第3回目のボランティア活動が実施されました。



林道横断溝の清掃活動



林道側溝の清掃

当日は晴天に恵まれ、OF会10名、山口森林管理事務所職員10名の計20名が参加し、林道の側溝や横断溝の土砂をスコップや鍬を使って取り除きや林道に繁茂した草を電動刈り払い機や鎌を使って刈払う作業を行いました。側溝や横断溝に溜まった土砂は落石などが混じり固くなっていて、なかなか簡単に取り除けない箇所が多く、鍬やスコップでの作業に苦労しつつもOF会の熟練された技術に感心しながら車両が安全に通行できる林道を確保するため、汗をかきながら林道整備を行いました。

林道施設維持・整備は、林道の安全走行や各事業箇所等へのアクセスに欠かせないものであり、普段からの林道整備が安全走行に重要であることを再認識した1日となりました。

※OF会とは森林管理署等の退職者で構成された団体で、国有林をフィールドとしたボランティア活動を通じて国民参加の森づくり活動に貢献しています。



作業後の集合写真

「新しい林業」の実現に向けた現地検討会を開催しました。

【島根森林管理署】

11月15日(火)、島根県美郷町よもぎやまの艾山国有林において、県、市町、林業事業者など約30名が参加して、現地検討会を開催しました。



防護柵・ツリーシェルターの設置方法説明の様子

当日は、皆伐から再生林までを一貫作業で実施した森林整備事業の作業地で、「新しい林業」の実現に向けて国有林で取り組んでいる林業の低コスト化や獣害対策を紹介し、シカ防護柵とツリーシェルターの設置方法を説明した後、参加者はコンテナ苗の植付けとツリーシェルターの設置を体験しました。



コンテナ苗の植え付けの体験



ツリーシェルターの設置体験

意見交換では、請負者の邑智郡森林組合から作業の体験談や資材の改善点、島根県鳥獣対策部署からは県内のシカ生息分布や被害の現状などの発言がありました。参加者からは資材の耐用年数、設置コストなどの質問が出されました。

近畿中国森林管理局では「林業の成長産業化に向けた貢献」として民有林への技術の普及・定着を大きな目標の一つとして掲げており、島根森林管理署においても今後も多様化する林業の課題や地域のニーズに応じた「現地検討会」を開催し、島根県の林業の振興に取り組んでまいります。

「高野山古事の森」見学会を開催しました。

【和歌山森林管理署】

和歌山県高野町において、11月12日(土)、「令和4年度 高野山古事の森見学会」を開催しました。当日は、一般参加者20名とスタッフ8名の計28名で、晩秋の紅葉を見ながら、世界遺産 高野山だんじょうがらん 檀上伽藍さいとう 西塔及び「高野山古事の森」現地の見学を行いました。



金剛峯寺西塔の境内での説明

西塔は、一般に開放されておらず、普段は外からのぞき見ることはできませんが、今回特別に内覧をさせていただきました。また、今回は、金剛峯寺 霊宝館館長 大森照龍氏のご説明を受けながら普段は聞けないような歴史深い話をいただきました。その後、「高野山古事の森」まで移動し、現地を視察した後、集合場所にて解散となりました。



金剛峯寺西塔での説明

参加者からは、「霊宝館館長さんの面白いお話が聞けて良かった」「外側は地味な色なのに、中は極彩色の世界が

広がっており、大変良かった」と大変喜んでいました。今後も、古事の森のPR等活動を続けていきます。



金剛峯寺西塔

「春日奥山古事の森」の普及啓発イベントを開催しました。

【奈良森林管理事務所】

奈良森林管理事務所では、11月2日(水)、第11回「春日奥山古事の森」普及啓発イベントを開催しました。

「古事の森」は、歴史的木造建築物の修復・再建に必要な大木を200～400年の超長期に亘り育成することを目的としたもので、「春日奥山古事の森」は世界遺産である奈良市内の「春日山原始林」に隣接する地獄谷^{じごくだに}国有林に平成16年度に設定しました。

このイベントは、「春日奥山古事の森育成協議会」の会員でもある、春日大社、興福寺、東大寺のご協力により、会場等を持ち回りでお借りして実施しています。

コロナ禍により3年ぶりの開催となった今回は、「錦秋の世界遺産 興福寺を訪ねて」と題して、興福寺を会場として実施し、一般応募者等27名が参加しました。

当日は、協議会会長の春日大社 今井禰宜^{ねぎ}*の挨拶に始まり、続いて、今回のイベント会場である興福寺より歓迎の挨拶及び興福寺の伽藍等についての説明を受けた後、牧田所長から映像資料等により



牧田所長による説明

「春日奥山古事の森」について説明を行いました。

講演終了後は、記念撮影を行った後、興福寺のご厚意により、秋季特別開扉の北円堂及び阿修羅像などの国宝が安置されている国宝館を見学させて頂きました。

参加者からは、「興福寺の歴史なども聞けて、とても

有意義なイベントだった。また機会があれば是非参加したい」との声がありました。

当所では、今後とも、協議会と連携・協力しながら、古事の森育成や普及啓発活動を実施してまいります。

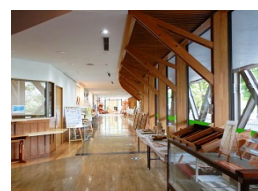


記念撮影

※禰宜(ねぎ)：宮司を補佐する者の職稱

お知らせ

森林のギャラリー(局庁舎1階)



【技術普及課】

1月10日(火)～2月1日(水)の展示は、大阪府千早赤阪村、河内長野市、河南町、福井県池田町です。

ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【箕面ふれあい推進センター】

○当センターの様々な活動を広く知ってもらうために「こだま通信」を定期的に発行しています。

これまでのバックナンバーを載せていますので、ぜひご覧下さい。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html



【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙を発行しています。

これまでのバックナンバーを載せていますので、ぜひご覧下さい。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/information/oosugitegami_057.html



花草木

【クロガネモチ】

クロガネモチ（モチノキ科 モチノキ属）は、モチノキの仲間で、若い枝や葉柄が黒紫色であることや、葉が乾くと鉄色になることからクロガネモチと名付けられたそうです。「苦労がなく金持ち」に通じるネーミングから縁起木として知られています。金属の色は、金は黄金、銀は白金、銅は赤金、そして鉄のことを黒金といわれています。

本州から沖縄まで幅広く分布し、庭木や公園に使われます。冬期に赤い実を付ける庭木としては最大級で、花の少ない冬を彩る存在になります。

また、この実はヒヨドリ等の野鳥が好んで食べ、運が良ければ鳥の糞から庭に勝手に生えることもあります。

モチノキやヤマグルマと同様に、樹皮からは鳥もちや染料を採取でき、材は農具の柄に使われたりします。

クロガネモチの花言葉は「魅力」「寛容」「執着」「仕掛け」です。



市内で見つけたクロガネモチの木

我が署のスタッフ 奈良森林管理事務所 坂部 凌（さかべ りょう）（令和2年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

総務グループに所属し、主に経理業務を担当しています。今年からは、車両関係も担当し、車両点検業務の入札等にも携わっています。また、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和された今年度は、3年ぶりに開催した「古事の森啓発イベント」にスタッフとして参加したり、「国有林野等所在市町村長協議会」をはじめとする外部の民有林関係者等との会議に出席したりと事務所内だけでは味わえない体験をしました。

更に、11月に開催された「森林・林業交流研究発表会」において発表し、賞まで頂いて貴重な経験をさせていただきました。今後も、今まで携わっていない業務についても勉強していきたいと思っています。

【職場の雰囲気は？】

和気藹々とした相談しやすい職場だと思います。周りの人からも常に声をかけて頂き、あたたかい職場だと感じています。

【林野庁の魅力は？】

公務員といえば事務仕事メインというイメージがありますが、林野庁は国有林を管理している官庁のため、事務だけでなく、山の中を歩き回れる点が魅力だと感じています。良い意味で公務員らしくない仕事もできるため、毎日新鮮な気持ちで働いています。

※ジェットシューターは、水囊（約20キロ・グラム）を背負い、ポンプで消火する機材。人が歩きながら、消火活動ができる利点があります。



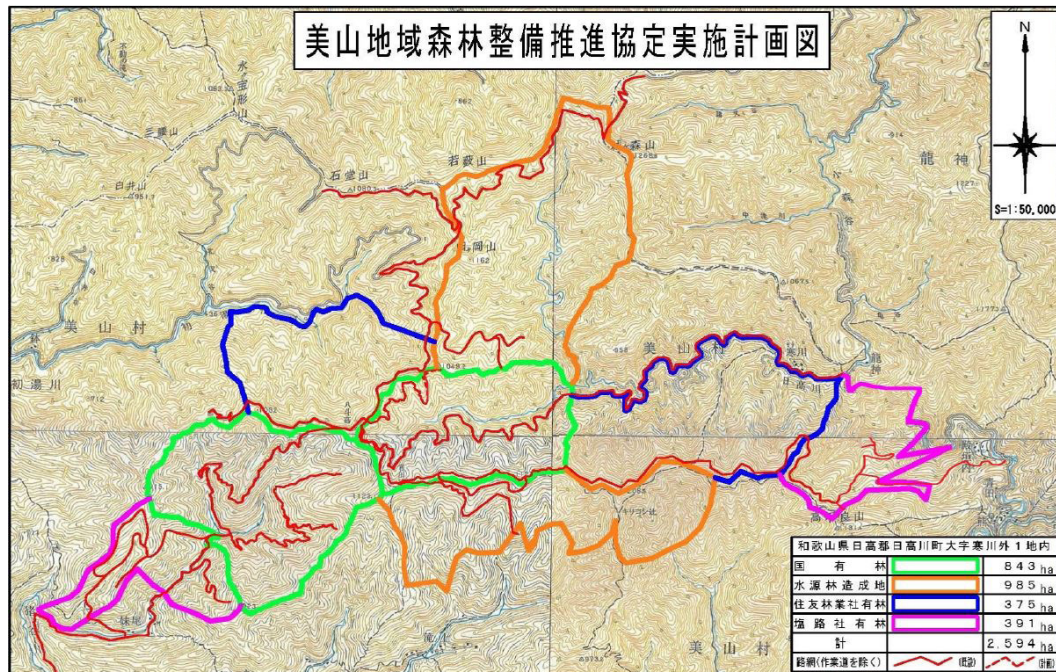
ジェットシューター※を体験中

森林事務所紹介

龍神森林事務所 (和歌山森林管理署)

首席森林官 春名 誠 (はるな まこと)

龍神森林事務所は和歌山県の中央部に位置する田辺市龍神村に所在し、田辺市（龍神村）、日高川町、印南町、日高町、みなべ町、御坊市、美浜町、由良町の2市6町を管轄区域とし、紀中・紀南森林計画区において国有林6団地約3,100ha、官行造林地7団地約390haを管轄しています。中でも、田辺市龍神村は“安珍清姫の物語”で知られた日高川の上流部に位置する古くからの林業地域であり、村内には200年程度のスギ・ヒノキの美林が存在します。



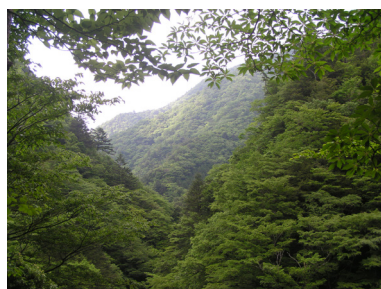
紀州備長炭生産量日本一を誇る日高川町では、和歌山森林管理署、和歌山水源林整備事務所、住友林業株式会社、塩路株式会社、紀中森林組合の5者が「美山地域森林整備推進協定」を締結し、約2,600haの共同施業団地において、連携して効率的な路網整備と間伐等による森林整備を推進しています。



シカ防護柵の点検修理

また、国有林が行う森林整備事業としては、共同施業団地内の西ノ河国有林等において複数年（三箇年）事業として、伐採から植栽までを一貫して行う約6ha保護伐及び植付、並びに約5haの搬出型間伐と約16haの存置型間伐を実施中です。

当森林事務所の主な業務としては林野巡視、各種事業の監督（森林整備事業、シカ捕獲事業等）、シカ防護柵の点検修理、また、最近では各市町村が取組を推進している地籍調査関係の業務として現地立会などに取り組んでいます。



亀谷ツガ・ブナ希少個体群保護林（田辺市龍神村）

シリーズ『国有林 最前線！』

新規採用者募集の取組

～ようこそ近畿中国森林管理局へ～

総務課

近畿中国森林管理局総務課人事係では、職員の採用や任用、退職など人事に関する業務や、職員の表彰や懲戒処分に関する業務、勤務時間管理に関する業務などを担当しています。



イラスト入りの業務説明資料の表紙

林野庁には毎年 100 名以上の新規採用者が入庁し、本庁や全国の森林管理局に配属されます。近畿中国森林管理局に配属された新規採用職員は、管内の森林管理署等に勤務し、国有林野事業の最前線で森林管理や治山等の業務に携わることになりますが、新規採用職員の経歴は様々で、森林・林業についての専門知識が無い職員も多数入庁します。そのため専門的な業務に対する不安を抱く職員も多いのですが、採用後の充実した研修制度により、業務に必要な知識は

等しく身につけることができ、数年後には現場第一線の森林官として活躍することになります。

さて、採用業務を行う上で、知名度の低さからか、林野庁への就職を志望する学生が少ないことが大きな悩みとなっています。そのため、人事院や大学が主催する業務説明会には積極的に参加し、PR 活動を行っています。昨年度からは、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で採用活動を行うことが必要となり、業務説明会の多くが WEB 開催へと様変わりをしています。WEB 開催となったことで、京阪神地区以外の説明会にも積極的に参加でき、地方で学ぶ学生にも自宅から気軽に参加してもらえるようになりました。また、対面の説明会と同様に WEB カメラで作業道具等の紹介もでき、具体的で視覚に訴える説明ができるので、参加者と対話しながら大変有意義な説明会を実施しています。

しかし、前述のとおり、参加者の広がりには欠けるところが課題であるため、官庁という堅苦しさを無くしたより親しみやすい説明となるように、業務説明資料にはイラストなどを多く取り入れ、採用後の職場環境や業務をイメージしてもらえるように、若手職員に対して実施したアンケート結果や、入庁後 2～3 年の先輩職員から学生へのメッセージを紹介するなどの工夫もしています。

さらに、HP には採用情報ページを常時開設し、様々な採用情報を発信しています。今後も、さらに「林野庁近畿中国森林管理局」の知名度アップと採用志望者の拡大を図るため PR に努めていきたいと考えています。

た研修制度により、業務に必要な知識は



Web 業務説明会の様子

近畿中国森林管理局の職場環境は・・・

近畿中国森林管理局の若手職員※に聞きました！

※令和2年及び令和3年度入庁者33名

Q1.職場の雰囲気は？

先輩とお昼ご飯を一緒に食べに行ったり、休みの日にハイキングに行ったりしています。

適度に雑談ができる雰囲気、和気あいあいとしています。

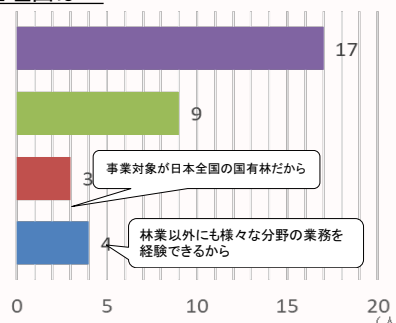
上司には年の離れた方が多いですが、親しみやすく話をさせていただきます。

有志でのスポーツ大会への参加など業務外での活動もあります。



Q2.林野庁を志望した理由は？

- 自然(森林)に関わる仕事がしたいから
- 試験区分に関わらず現場で働けるから。
- 学生時代に学んだことを活かせるから。
- その他



事業対象が日本全国の国有林だから

林業以外にも様々な分野の業務を経験できるから